

第7章 薬 事

1 薬局の処方せん受取枚数及び医薬分業率の推移 (表1、図1)

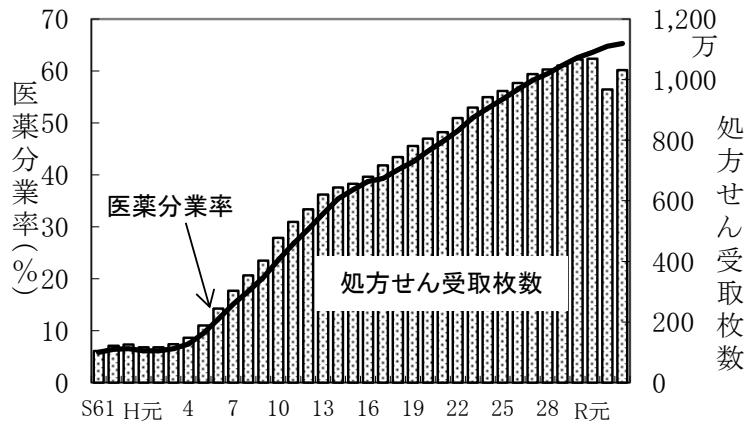
医薬分業は、推進のために様々な施策が実施された結果、薬局の処方せん受取枚数は年々増加傾向にあり、令和3年度は約1,032万枚で前年を上回った。

医薬分業率(処方せん受取率)は、令和3年度は65.3%となり、医薬分業は着実に進んでいる。

表1 薬局の処方せん受取枚数・
医薬分業率及び薬局数の推移
(各年度中・年度末現在)

年次	医薬分業率	処方せん受取枚数	薬局数
平成27	58.2	10,190,123	877
28	59.5	10,337,486	887
29	61.1	10,473,016	891
30	62.6	10,670,003	903
令和元	63.6	10,696,850	914
2	64.8	9,681,353	941
3	65.3	10,318,691	974

図1 薬局の処方せん受取枚数及び医薬分業率の推移



【出典】(社)日本薬剤師会ホームページ
衛生行政報告例

【出典】(社)日本薬剤師会ホームページ

$$\text{医薬分業率} = \frac{\text{薬局の処方せん受取枚数}}{\text{医療診療(入院除く)日数} \times \text{医療診療投薬率} + \text{歯科診療日数} \times \text{歯科診療投薬率}} \times 100$$

(処方せん受取率)

2 献血状況の推移 (表2、図2) 【統計表 9-第12表】

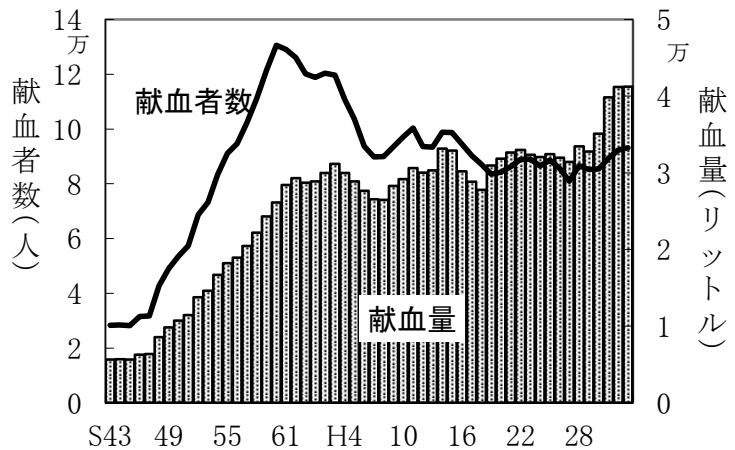
献血者数は、昭和60年度をピークに減少していたが、平成7年以降は増減を繰り返しながらほぼ横ばいの状態となっている。令和3年度は93,199人で、前年と比べ900人増加した。

令和3年度の献血量は41,253.7リットルで前年と比べ35.2リットル増加しており、献血量は増加傾向にある。

表2 献血者数及び献血量の推移
(年度中、昭和60以前は年中)

年次	献血者数	献血量
昭和45	28,170	5,634.0
50	53,520	10,704.0
55	91,156	18,231.2
60	130,644	26,128.8
平成2	120,422	29,989.8
7	89,790	26,543.3
12	93,582	30,034.3
17	90,290	28,840.9
22	88,820	32,971.3
28	86,662	33,459.0
29	85,245	32,792.0
30	85,395	35,110.0
令和元	89,369	39,843.9
2	92,299	41,218.5
3	93,199	41,253.7

図2 献血者数及び献血量の推移



【出典】薬務課調

【出典】薬務課調